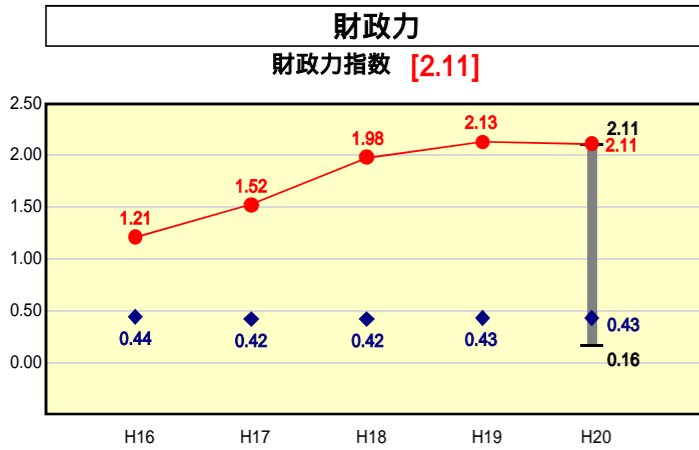


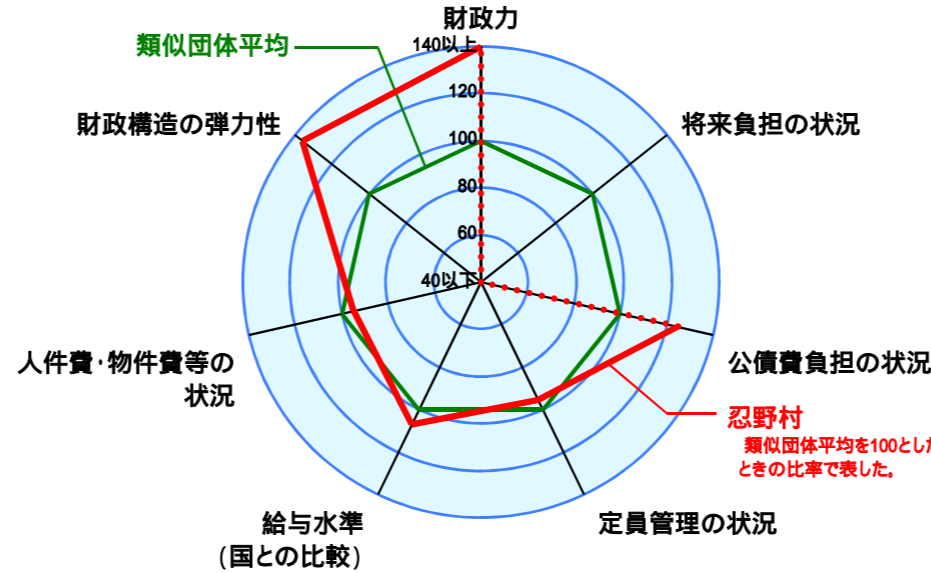
# 市町村財政比較分析表(平成20年度普通会計決算)



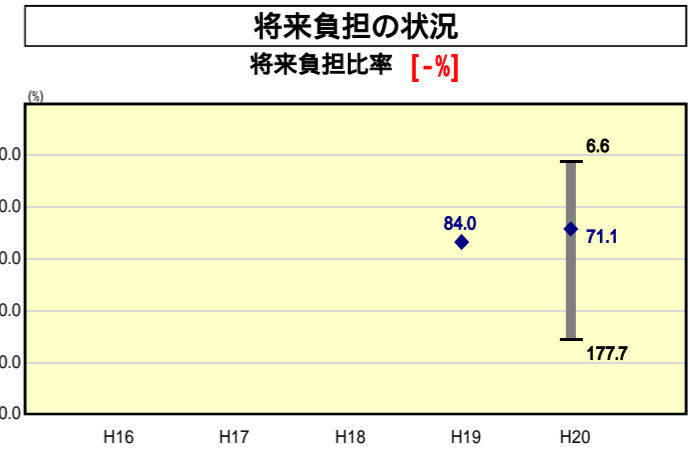
● 当該団体値  
◆ 類似団体内平均値  
T 類似団体内の最大値及び最小値

類似団体内順位 1/53  
全国市町村平均 0.56  
山梨県市町村平均 0.66

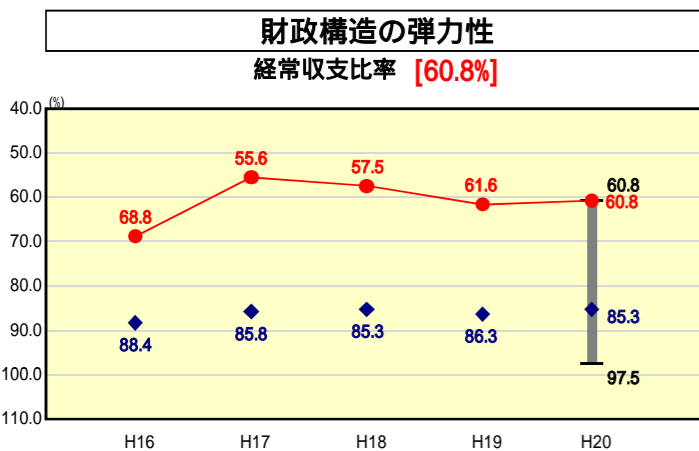
人口	8,811	人(H21.3.31現在)
面積	25.15	km <sup>2</sup>
標準財政規模	4,446,549	千円
歳入総額	5,403,795	千円
歳出総額	5,126,211	千円
実質収支	219,145	千円



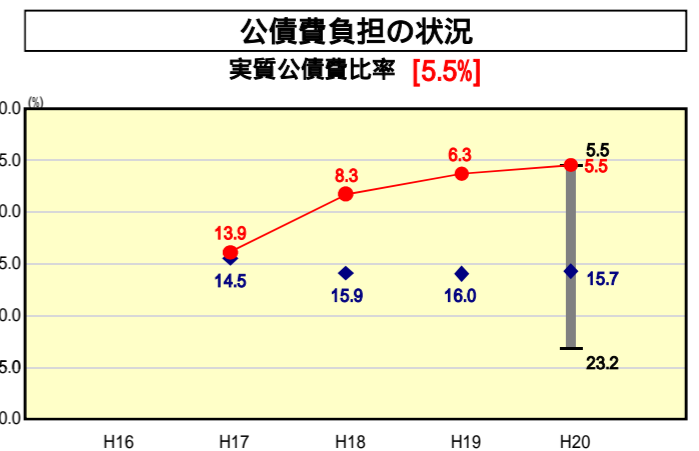
類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



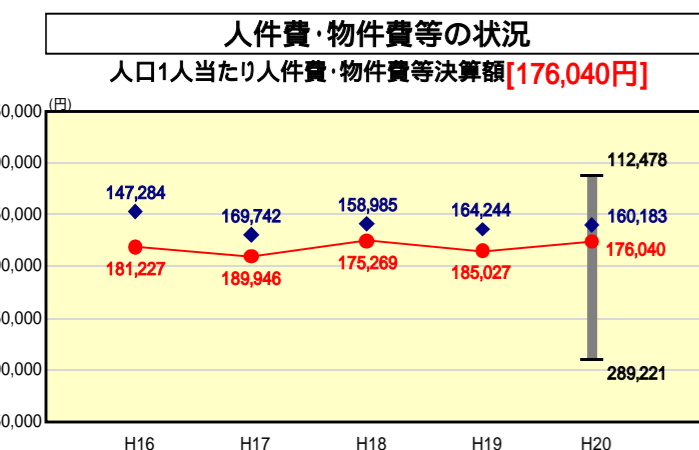
類似団体内順位 -/-  
全国市町村平均 100.9  
山梨県市町村平均 101.9



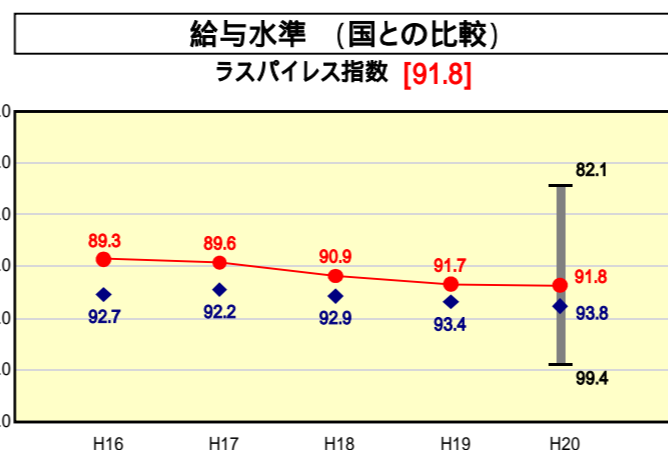
類似団体内順位 1/53  
全国市町村平均 91.8  
山梨県市町村平均 84.8



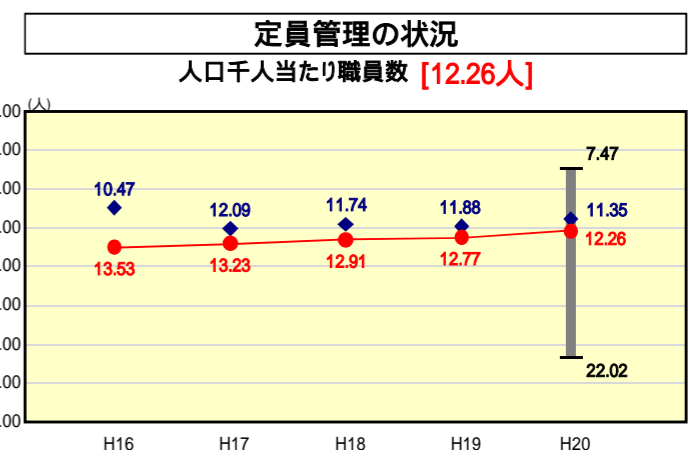
類似団体内順位 1/53  
全国市町村平均 11.8  
山梨県市町村平均 15.4



類似団体内順位 33/53  
全国市町村平均 114,142  
山梨県市町村平均 125,165



類似団体内順位 14/53  
全国市平均 98.4  
全国町村平均 94.6



類似団体内順位 32/53  
全国市町村平均 7.46  
山梨県市町村平均 8.02

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし 人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

## 分析欄

財政力指数：ここ数年間、特定法人村税に依存した歳入状況により類似団体を上回ったが、今後景気低迷により減収が予想されるが、歳出削減・定員管理・地方税の徴収強化等の取組みを通じて財政基盤の強化に努める。

将来負担比率：今のところは、良好であるが、今後とも良好でいられるような、財政運営に努める。

経常収支比率：平成16年度から公債費の削減を図っている事により類似団体最小値になっている。「集中改革プラン」に掲げた人件費等の削減など行政改革への取組みを通じ、義務的経費の削減に努め、現在の水準を維持出来るようにする。

人口千人当たり職員数：平成13年度から平成14年度にかけて、行政需要の急速な増加に対応する為、職員を採用(2年間で6人)したことにより、類似団体を上回っている。定員適正化計画に基づき定年退職者の不補充等により、平成21年度までに職員数を5%削減する。

ラスバイレス指数：給与体系の見直しが遅れ、類似団体平均を2.0下回り、全国町村平均を2.8下回っている。今後、給与の適正化に努め、類似団体平均の水準に近づけるよう努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額：類似団体平均を上回っているのは、さかな公園・四季の杜おしの公園などの施設運営を直営で行っている事が

主な要因である。今後は、民間でも実施可能な部分については、指定管理者制度などの導入などにより委託化を進め、コストの低減を図っていく。

実質公債費比率：ここ数年の起債抑制策により類似団体平均を下回っている。今後とも、緊急度・住民ニーズを的確に把握した事業の選択により、起債に大きく頼ることのない財政運営に努める。